

# 新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。

皆様には良い年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2026年は、十二支の中で、7番目の丙午（馬）の年に当たり、馬は「物事が“うま”いく」「幸運が駆け込んでくる」などと言われる縁起の良い動物です。

今年は「丙午」で火のエネルギーが非常に強い特別な年。大きな転換点となり、人生のステージを変える節目となる年と前向きに捉えられています。

医療・介護業界においては、診療報酬改定の年であります。前回、2024年は実質マイナス改定で、全国の約7割の病院が赤字となりました。その理由として、医療費は公定価格で定められており、物価、賃金等の上昇率をカバーできない為です。

本年の改定で国は「異次元の改定率」とも評されるプラス3%超への引き上げを決定しました。本体3.09%の内訳を見ると賃上げと物価補填に重点が置かれたものとなり、財源確保のための効率化も図り、薬価引き下げ等で部分的にバランスを取り、国民の健康を支える分野に大胆に投入されたと判断されます。

また、介護報酬も臨時で長引く物価高や他業種の賃金上昇を踏まえ、職員の処遇改善に関する部分について「介護報酬2.03%」「障害福祉サービス等報酬1.84%」本年6月より同時改定することになりました。

一方、患者さんにとっては負担増となる側面もありますが、安心・安全で質の高い医療を受ける体制維持という利益につながる事が期待できます。

当院としては、内外環境に鑑み現状分析を行い、報酬改定に沿った取り組みを迅速に行い、理念とする地域医療・在宅ケアに専念し、関係各部署、職員間の連携・情報共有を図り、患者・利用者さんへ引き継ぎ、適切な治療～退院・在宅支援、所謂「治し、支える医療」「地域完結型の医療」の提供に努めてまいります。

また、各種介護事業においては、「介護付き有料老人ホーム こころはす旗屋」も開設後、安定的に運営しております。その他のこころはすグループ「小針」「西蒲」「亀貝」「楨尾」「五十嵐」「小新」、また「訪問看護」「居宅」も地域医療・介護を支えるため、情報共有を密にし、スキルの向上に努め、ICT、DX等も駆使し、更なるサービスの向上を図っていきます。

今後も、少子高齢化、人材不足、物価高など難しい社会背景ですが、今年の目標である、県内で一番の「やさしい病院」・「やさしい施設」をめざすべく、患者・利用者さん、ご家族の立場に立ち、敬意や共感、思いやりを大切に励んでまいります。

皆様にとりまして、丙午（馬）の年、目標や夢がかなう、  
幸運な年になりますことをご祈念申し上げ年頭の挨拶と致します。

医療法人美郷会  
理事長 江部和人